

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

12

2010 No.675

目 次

3 はじめの言葉

4 論点を探る 続 繰り返される失敗の歴史から

情報処理の原点を学ぶ

田原文夫

クラウドサービスの売り込み合戦は凄まじい。ベンダーの売り込み口上には、仮想化による無駄のない活用、標準化による最適なリソース配分、従量制による安価なコストなど、結構な殺し文句が続く。無駄のない情報システムの導入と活用、標準化の実現、コスト削減など、これまで関係者が努力してきたものの、いずれも実現できずにきた命題ばかり。要するに目新しいものはない。限りなく失敗を繰り返してきた課題ばかりだ。換言すると、コンピュータがいかに出来かけ商品であるかを改めて物語っている。早い話、今後とも情報システム活用には様々なリスクが潜むということだが、それを使いこなすのも人間の知恵である。先月に続いて、繰り返されてきた失敗を見ながら原点を考え直してみよう。

1 1 情報社会を考える その3

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

ウィキリークスによる機密文書のインターネット上への公開行為をめぐって、各国政府は一斉に批判の声明を出している。ウィキリークスの情報入手方法は関係者の内部告発がほとんどだとされ、すでに入手済みの情報は 25 万件にも達すると言われる。これまでに公表された 300 件余に比べると凄まじい量だが、正確に確認されているわけではない。果たして彼らの行為は情報社会における正当な情報処理活動だと言えるものか。あるいはサイバーテロと見なすべきものか。判断は難しい。だがしかし、彼らの行動パターン自体が内包している危うさもいくつか指摘できる。事の成り行きによっては、かなり深刻だと言える。もしも彼らが各国サイバー軍に逆利用されるようなこととなったら。来るべき情報社会を生き抜くため、我が国も本格的なサイバー軍の創設が必須だと前号にて主張したが、改めて、サイバーネット時代の世界における日本国、日本における企業、企業における我々自身の存在を考えさせられる。

1 5 クラウドの仮想化サービスに潜む課金制度と保守料金問題

aism

クラウドサービスが絶対的に安いということはない

保守契約および保守料金に関する議論は、クラウドサービス環境での課金問題へと発展してきた。仮想化、標準化、自動化とクラウドコンピューティング環境を実現する要素テクノロジーが力説されている程度で、統一されたサービスレベルの提案もできていない。官公庁などでは新興宗教的に「クラウドは安い」と信じ切っているようだが、まさに全体像を把握した上での結論ではない。aism ネットクラブで討議を始めたところで早くも「ク

クラウドサービスが絶対的に安価というわけではない」の認識が出てきている。少なくとも、本格的な活用を始める前に、セキュリティ問題だけでなく、安いとされる料金課金制度の確認と確立をベンダー側に求めていく必要があるようだ。

2 0 人材紹介業界の秘話と悲話

第四話 明日の愛より今日の恋／あー恋人来たらず

Dr.ベスト

自社のソフトウェア技術者を自力で育成しているのは、今や大手企業よりも中小企業のほうだという指摘がある。下請けの下請けの下請けのという、何段階にもわたるソフトウェア開発業界にあって、最終的な開発の実務を担っているのが、中小のソフトウェア開発企業だからである。自社要員で開発しなければ利潤が出せないという背景もある。また「実際に仕事をする」という自負と気構えを持って臨んでいる集団であるからでもある。ただ、残念なことは、彼ら本当の仕事人にダイレクトにソフトウェア開発依頼をするユーザー組織が少ないことである。ここにも、人材調達／要員確保の悲話と秘話がある。

2 4 続インテリジェンスへのいざない ⑫

情報管理とは情報漏えいのアンチテーゼではない

今井 武

情報が漏えいしたから情報管理をしなくてはならない。情報管理すなわち情報漏えい防止策だという発想だ。これほど安易で短絡的な発想もない。仮にそれが情報管理の神髄だとしたら、何と幸せなことか。情報管理の発想には、情報セキュリティ対策を施すこと、正しいアクセス管理をすること、適切な情報活用をすること、倫理観と正義感に基づいた活用をすること、他人を誹謗中傷することのない情報活用をすることなどが含まれている。改めて「情報管理とは」を考えてみたい。

2 7 IT新時代とパラダイム・シフト

第15回 事業仕分けとIT予算の見直し

根本忠明

国民の注目を集めた民主党政権の事業仕分けは、混迷を極めた。科学技術やIT関連の予算にも影響が及んでいる。大幅な財政赤字の削減が求められるなか、長期的なIT政策の在り方と効果的なIT予算の編成が求められている。この観点から、今回の事業仕分けを振り返ってみる。

3 1 一味違うウェブ検索

第五話 ウィキペディアをグローバルに調べる

ぐうのうえぶへい

ウィキペディアには各国版があり、機械翻訳で簡単に読める。各国語版は独自に編集されているので、これらを比較参照することで、「プラスα」の情報を簡単に入手できる。

3 3 しすてむこらむ

クラウドビジネス本格化への布石

IBM パブリッククラウドサービスを開始

日本ではプライベートクラウドを優先したかった

メゾフォルテ

3 5 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまちヒロ

笑って考えてもらいます。

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,810円＋税 送料(〒300) A5版 289頁 **石井 義興** 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EJOが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとホスト・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正統化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A5版 249頁 **豊島一政・木村 哲** 共著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEJOにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプロダクトの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 181頁 **田原文夫** 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意思決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 197頁 **一橋大学教授 安田 聖** 監修 **aism情報セキュリティ・マージン研究会** 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM_MLIEZの監視と調査
第二章 aism情報セキュリティ・マージン研究会の発足	第十二章 メールが漏れない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 住居ネットワークのための情報オナーの確保
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedフォーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心構え
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ(教育)」
第八章 aismの2008年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのチェックポイント
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 271頁 **高田 顯重** 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム革新
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム更新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 212頁 **安田 聖** 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方程式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの「得」広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,740円＋税 送料(〒300) A4版 288頁 **加藤 洋一** 著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 発表文も企業体質
■ ニュースリリースは双方向通信	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 系字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付>記者と向き合ふ十六の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国産グローバルサーバー
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,840円＋税 送料(〒300) A5版 260頁 **迫 忠幸・湯浅 誠** 共著 (株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日米開発手法の違い
第二章 なるプロジェクト	第十二章 米軍ゲーム開発の危機
第三章 斬りこむシステムへの働き	第十三章 新たな助っ人
第四章 WDCに向けて	第十四章 米軍専務理事と新たな働き
第五章 FJC、IBM競争	第十五章 開発プロセスとトクナッチ
第六章 日米プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日米運用体制と本番最終日
第八章 米軍チーム立ち上げの過渡	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大谷の巻、共同コミュニケーション	第十九章 臨時その一 直前、後編、直後の話し
第十章 米軍チーム、能となる三人組	第二十章 臨時その二 東京防衛と米軍センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp